

官民連携地域プラットフォームの深化

- ・官民連携(PPP/PFI)事業の実現を目指したプラットフォームを平成28年度より継続して実施
- ・30年度は、セミナーやワークショップに加え、地方公共団体内部や地方公共団体間の連携強化に向けたコンテンツを追加

概要

官と民が連携するための舞台づくり

地方公共団体・金融機関・民間事業者等の参画を得ながら、官民連携(PPP/PFI)事業の実現を目指して「官民連携地域プラットフォーム」を管内3県域で開催。



プラットフォームの深化のためコンテンツを追加

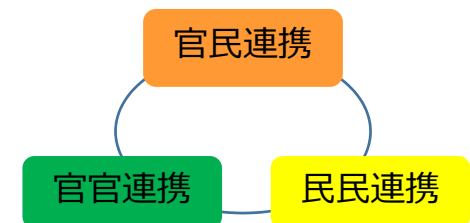
- 具体的な施設について、円滑な官民連携のための要件整理や事業アイデアについて対話する「サウンディング調査」を実施。
- 民間事業者側の実践的なノウハウや、事業者間連携の手法を学ぶ「民間向け実践講座」を実施。
- 地方公共団体内部において、認識の共有や協働意識の醸成のための勉強会を実施。
- 地方公共団体担当職員同士で、直面している課題や組織内の状況を議論する「地方公共団体担当者意見交換会」を実施。

取組の成果

案件形成に向け着実に前進

- 地方公共団体独自で8施設についてサウンディング調査を実施するなど公共施設再編に向けた動きが加速。
- 予算部局、担当部局が一丸となって公営住宅整備事業に着手。内閣府支援を受け、調査業務を開始。
- これまで参画のなかった地方公共団体からも相談や要望が挙がるなど、プラットフォームの活動が確実に浸透。

「官民」連携に加え「官官」「民民」連携の起点に



エリアマネジメントの実現

地域における連携の強化を通じ、具体的案件の形成を進めながら、エリアマネジメントの実現に向けて取り組む。

若年層及び子育て世代向け広報の充実・強化

- ・これまで北陸管内の小・中学校、高等学校の児童・生徒達に、財政を通じて国の将来について考えてもらうため「財政教育プログラム」を実施
- ・また、子育て世代の方々にも財政を身近に感じてもらうため、マネー講座を実施

概要

財政教育プログラムのノウハウの提供

- プログラム内容について、質的向上を図るべく、相手方からの要望に応じて適宜アレンジするなど工夫。
- 児童生徒が財政について学ぶ機会をより拡充するため、専門性の高い教員養成を目的に設置されている教職大学院において実施することにより、教員自らが、財政への理解を深め、財政教育プログラムを教育現場で活用してもらう。



子育て世代向け広報の内容充実

- これまで、国の財政状況のほか、ライフプランの立て方や教育資金・老後資金の所要額等の内容が中心であったが、要望に応じ、NISA等の資産形成に関する講座も順次実施している。



取組の成果

全国初！町の財政を題材とした財政教育プログラムを実施

- 石川県羽咋郡志賀町の石川県立志賀高等学校で実施した財政教育プログラムでは、学校側からの要望を受け、通常は国の予算をベースに行っているものを、町の予算にアレンジして実施。志賀町の財政担当者にも講師を依頼し、町の財政の特徴、直面する課題などを講義。

＜生徒たちの声＞

- 家で両親とも話をしてきたが、実際に町の予算を増減させることは難しく、グループになってバランスを考えていくことも難しかった。



財政教育プログラムの拡充

- 教員養成課程で財政教育プログラムの体験機会を設けることで、財政の授業において当該プログラムを活用することが可能に。

マネー講座の内容の充実

＜マネー講座受講者の声＞

- 国の財政や税金の話など今まで知らなかったことも理解できてよかった。
- より多くの方にこの講座を聞いていただけたらいいと思う。